

町 能 祭

よしだ 議会だより



第67号

吉田町議会

〒421-0395
静岡県榛原郡吉田町住吉87
TEL:0548-33-2141
平成24年11月発行
責任者 議長 八木 栄

平成24年第3回定例会	2 P
平成23年度決算、決算連合審査、大型補正予算の概要 一般質問 町政を問う	8 P
小山城周辺整備による産業振興策を探る！	13 P
教育長にはどんな人が？	14 P
まちの話題(お達者度女性第1位)	15 P

23年度
一般会計

93億円 どう使われたのか

歳入総額 93億 776万1千円
歳出総額 88億5,012万6千円

歳入歳出差引残高 4億5,763万4千円
－繰越明許費 3,619万2千円
実質収支額(黒字) 4億2,144万2千円

※繰越明許費とは…年度内に終わることのできない支出を、次年度に繰り越す経費

第3回定例会

議会は、平成24年9月3日から24日までの会期で開催。平成23年度決算議案7件、平成24年度補正予算6件、契約の一部変更1件、人事案件1件など計15件を審査、可決した。

どこから
お金が
入ったか?

自主財減 町税・繰入金・繰越金使用料・など
65億4,113万9千円
構成比率70.3% (前年72.8%)

依存財源 国庫支出金・県支出金・地方交付税・など
27億6,662万2千円
構成比率29.7% (前年27.2%)

町税

収入済額

56億5,238万2千円

税目	収入済額	前年度比較
町民税 個人	14億1,350万8千円	341万6千円 減少
法人	5億9,970万5千円	3,863万8千円 減少
固定資産税	31億 386万3千円	1億1,220万2千円 減少
軽自動車税	6,680万9千円	204万5千円 増加
町たばこ税	2億 67万2千円	2,559万3千円 増加
都市計画税	2億6,782万4千円	159万7千円 増加

※千円未満を四捨五入してあるため、総額と合わない場合あり。

決算の概要

平成23年度一般会計・特別会計をあわせた歳入歳出決算額収入状況

(単位：千円)

区分	予算現額	決算額		繰越財源	実質収支	前年度 実質収支	単年度 収支	
		歳入額	歳出額					
一般会計	9,109,002	9,307,761	8,850,127	36,192	421,442	320,161	101,281	
特別会計	土地取得	147,719	146,903	146,889	0	14	14	
	国保	2,581,970	2,682,419	2,545,435	0	136,984	135,675	
	老人保健	-	-	-	-	-	5	△ 5
	後期高齢	196,959	198,289	192,319	0	5,970	6,458	△ 488
	介護保険	1,564,327	1,562,589	1,539,031	0	23,558	40,994	△ 17,436
	公共下水	919,927	928,644	904,116	0	24,528	32,310	△ 7,782
小計	5,410,902	5,518,844	5,327,790	0	191,054	215,442	△ 24,388	
合計	14,519,904	14,826,605	14,177,917	36,192	612,497	535,603	76,893	

(注)老人保健特別会計は平成22年度をもって終了となっている。

平成23年度の主な事業は



大井川smileネット事業
1,525万6千円



心身障害者自立事業
2億5,398万9千円



介護保険事業
2億2,584万7千円



感染予防事業
8,703万8千円



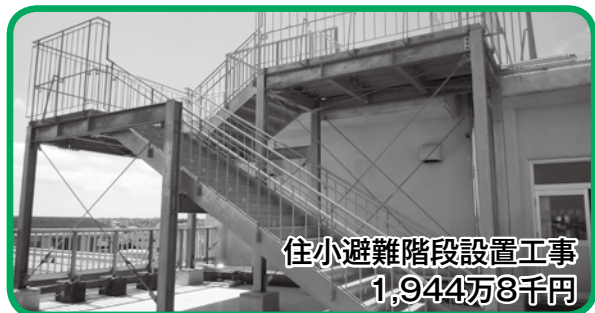
津波ハザードマップ作成事業
2,810万8千円



吉田中学校維持管理事業
4,952万9千円



体育施設・広場維持費
1,669万5千円



住小避難階段設置工事
1,944万8千円

◆特別、企業会計

土地取得事業

能満寺山公園用地

14,174千円
(868㎡) を買収



小山城資料館西側

問 収入未済額が約2億8千万円ある。収納率向上のために実施したことは。

答 口座振替を推奨し、95%以上の方が実施している。国民年金部門と協力し、年金申し込み時に口座振替をお願いしている。

問 特定検診の受診率が40・6%である。受診率向上策は。

答 集団検診に関しては23年度から1回土曜日検診を実施。個別検診(町内4院)も可能で、人間ドックの実施機関も7カ所に増やした。

後期高齢者医療事業

問 不納欠損や収入未済の方に対する対策は。

答 連絡し、個別に相談を行っている。

答 退職者の医療給付費は社会保険診療報酬支払基金と各保険者からの負担でまかなうため、保健事業への影響は極めて少ない。

問 退職被保険者増加で医療給付費1,700万円増加している。今後の対策は。

国民健康保険事業

討 論

反対討論

佐藤正司議員

年金支給額は4月から、段階的に減額されている一方、保険料は2年ごと引き上げられる。

高齢者の生活は、ますます苦しくなる、この医療制度は直ちに廃止、もとの医療制度に戻すべき。

賛成討論

吉永満榮議員

被保険者の疾病に必要な給付をする事業であり、究極の目的は住民の健康保持向上である。75歳以上の医療事業で、税の公平と財源確保で健全運営を図る。

介護保険事業

問 介護予防事業に参加した84人のう

ち、二次予防から一次予防に改善した人が68人で効率がいい。もつとPRしてはどうか。

答 効果はたしかにある。しかし、二次予防対象者のなかには自分で認めない人が多い。今後、さわやかクラブなど多くの機会にPRしていく。

問 県発表のお達者度では女性が1位で、男性は26位であった。男性に特化したPRが必要ではないか。

答 順位の差の原因は不明であるが、男性が参加する機会を多く作っていききたい。

問 特別養護老人ホームの待機者は。

答 実人数は93人で6カ月以内入所希望者45人のうち、指針にそって入所の必要な方12人は入所した。

公共下水道事業

問 吉田浄化センターの耐震補強約800万円の内容は。

答 壁の耐震補強と建物同士の連結部分の補強を実施。

問 吉田浄化センターの維持管理費で燃料対策は。

答 長期停電に備えて燃料1日分を備蓄している。

水道事業

問 水道配管の耐震対策は。

答 国の指針にそって古い管から計画的に実施中。

問 液状化対策は実施しているか。

答 現状は未実施である。

吉 田 町 の 基 金 (貯金)

(単位：千円)

区 分	H22年度末残高	H 23 年 度		H23年度末残高
		増 加	減 少	
財 政 調 整 基 金	1,261,194	0	63,339	1,197,855
吉田町立小中学校建設基金	189,263	130	0	189,393
教 育 振 興 基 金	60,740	0	250	60,490
減 債 基 金	11,666	9,000	0	20,666
そ の 他 の 基 金	41,460	1	0	41,461
合 計	1,564,323	9,131	63,589	1,509,865

※項目ごとを四捨五入しているため、計算結果が異なる場合あり

吉 田 町 の 借 入 金

(単位：千円)

区 分	H22年度末残高	H 23 年 度		H23年度末残高
		増 加	減 少	
一 般 会 計	8,502,904	888,673	563,826	8,827,751
土地取得事業特別会計	259,133	129,567	0	388,700
公共下水道事業特別会計	6,905,340	163,100	493,842	6,574,598
水 道 事 業 会 計	3,279,370	0	88,704	3,190,666
合 計	18,946,747	1,181,340	1,146,372	18,981,715

※項目ごとを四捨五入しているため、計算結果が異なる場合あり

決算連合審査質疑

歳入

問 臨時財政対策債は10年で借り入れ条件を変更できる。10年目に当たる平成23年度は何をしたか。

答 今回は利率の見直しを行った。町債に関しては条件が整えば最も有利な利率になるように借り替えを行っている。

問 不納欠損にいたる理由は。

答 個人町民税は外国人で既に出国した方がほとんど、法人町民税は廃業や倒産、固定資産税および都市計画税も財産がなくなり時効を迎えたものである。

歳出

問 配布した防災行政ラジオでFM島田が聞こえにくい地域がある。対策は。

答 吉田局からの電波の強さを調整しているが、北区では島田局からの電波とぶつかり雑音を生じることが認識している。現在は戸別に対応している。

問 住民参画推進事業は予算少なく、執行率(2.5%)も極めて低い。原因は。

答 重要なことと捉え、井戸端会議やまちづくり委員会などの計画はあったが、全体的行政運営の意思決定との兼ね合いから取り組みが遅れた。

問 防災訓練で住民の防災意識の高揚を図れたとの記載があるが、具体的には。

答 防災訓練の活動の中でのおのものが多分あると思う。それらを今後の防災訓練に活かして欲しいと考えている。

問 原子力防災に関して、何を、今後何をしようとしているか。

答 浜岡原子力発電所に関する県の会議に出席し状況を把握している。県の原子力の計画ができれば、当然も新たに対策を作る予定である。

問 前年度末に吉田町津波避難計画が作られたが、その位置づけは。中には避難経路は地域住民(自治会など)が設定すると書かれている。

答 今後自主防災会と一緒に計画を進めていく。その中で自主防災会がこうあって欲しいとの指針である。

問 小中学校に熱中症チェックカードを導入した効果は。

答 熱中症チェックカードは温度や湿度を測定する機器。そのデータから水分を多く取らせるとか、日陰に移動させるとかの指示を出している。昨年度は救急車で搬送された児童生徒はいなかったこともあり、効果は出ているものと考えている。



吉田中学校

問 町ぐるみ友愛活動とは。

答 さわやかクラブが独居老人とか、

問 老人世帯を訪問し、安否確認や生きがいの向上を目的に行っている。23年度は1,202回の訪問実績である。

問 住宅用太陽光システム設置補助金(1件2万円補助)の支出が71件とあるが、PRはどのように。

答 町の広報誌でお知らせしているが、国や県からの補助金も併用でき、設置業者からの情報提供が多い。

問 町内の放射能測定は実施したか。

答 島田市の試験焼却前後に、町内12カ所で測定。0.06から0.08Bq(ベクレル)で問題ないレベルだった。

問 情報発信で観光振興を図るとして、いるが、もつとやるべき事があるのでは。

答 新しい観光資源を作っていくかなければならないと考えており、小山城と吉田公園を候補として充実させていく予定である。

問 近年集中豪雨が增えているが、河川の水門および排水機場の管理に変更は。

答 従来と変更は無い。平常時の点検を4自治会などをお願いし、操作は都市建設課職員が実施している。排水機場は時間降雨量30mm以上では対応できない状況である。

問 大窪川の改修工事が次年度繰り越しになった理由は。

答 水量が多く、工法を変更したため。

一般会計補正予算 (第1号)

13億7,496万6千円増額補正

補正予算の内容

●都市防災総合推進事業関連	11億3,604万3千円	【特定財源】国庫支出金	5億1,177万8千円
		町債	5億9,370万円
●高齢者見守りネットワーク事業	【特定財源】県支出金	404万1千円	
●感染症予防費	702万円	制度改正による経費	
●観光振興費	200万円	【特定財源】諸収入	200万円
●基金費	2億2,208万1千円	財政調整基金	2億1,200万円
		減債基金費	1,000万円

問 避難タワーの建設予定は最終的に15基である。今年3基プラス6基であるとすると来年以降6基になる。予定の中で新たに買う必要がある用地はあるのか。

答 今年度は必要はない。来年度以降は必要とする用地はある。どうしても必要となるところは今後地元の方々の協力を得ながら進めさせていただきたい。用地取得が必要であるならばその手続きを取っていく。

問 6基追加の設置位置は決定しているのか。

答 決定していない。9月1日の防災訓練は仮の位置という形で示させていただいた。今後、場所の選定は自主防災会と話をしながらきめていきたい。

問 避難におけるソフト面の事業が皆無であるが、どう考えているか。

答 現在、防災関係練があり、地震防災という形で訓練を行っている。本年度は、津波防災まちづくり計画をつくりながらソフト面ハード面を充実させていく。

問 社会資本総合交付金の事業ですと基幹事業は27年度までであるが、新たな防災まちづくり計画を策定することによって国が認めた事業の計画策定においてどのような変化が想定されるのか。

答 都市防災事業については27年度までという形で動いている。町づくり計画は中長期的なものと考えながら進めていく。

問 避難タワーの設置ルールはあるのか。最初の3基、なぜそこでなければならなかったのか。

答 1街区1基が基本ルールである。3基については、できるだけ多くの人が逃げ込める可能性を求めた。次は一番海に近いところからやりたいと考えている。

問 避難タワー設置によって、高所から常に家を見下ろされる不安を持つという意見があるが、どのような考慮をされるのか。

答 タワーからのフェンスを考えている。また防犯の心配もあるとの地元からの要望も取り入れ設計に反映させていきたい。

問 避難タワーの設置位置は決定しているのか。

答 決定していない。9月1日の防災訓練は仮の位置という形で示させていただいた。今後、場所の選定は自主防災会と話をしながらきめていきたい。

平成24年度吉田町

当初予算 97億3,300万円 が
補正予算後 111億796万6千円 となる

地方債の補正

- 追加事業（増額） ●避難路整備事業 810万円 ●消防救急無線デジタル化整備事業 40万円
●都市防災総合推進事業北区公園整備事業 5,550万円
- 変更事業（増額） ●すみれ保育園建設事業 4,820万円 ●消防ポンプ車整備事業 800万円
●津波避難タワー設置事業 4億7,100万円
●都市防災総合推進事業日の出線整備事業 290万円
- （減額） ●吉田中学校空調設備設置事業 110万円

問 すみれ保育園の土地の面積情報だけでは何を審議しているのかわからない。規模の情報提供などはないのか。

答 設計金額が全体で6,600万円である。この中には、測量設計費やボーリング調査費用、地質調査なども含まれている。設計の中には他造成設計、人件費、諸経費、技術料などが含まれている。金額は、県の建築設計等委託算定基準に基づいて算定した。

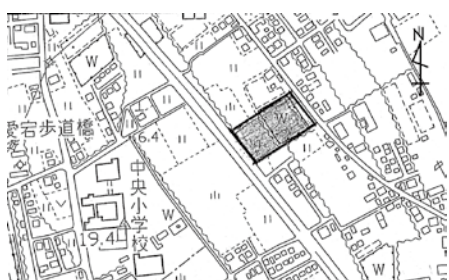
問 すみれ保育園は周辺の避難地整備事業というもので、前例がない施設と考える。この予算が、今後予定価格に影響をする金額として、非常に大きなものとなると思う。詳細なる設備などの内容を提示してほしい。

答 医療を伴うような重度の方については、受け入れは難しいが、軽度の子どもは

問 すみれ保育園は支援を要する子供たちを保護者が希望すればすべて受け入れられる体制を考えているのか。

答 規模・収容人員・構造・階数といった基本的な情報であれば提供していく。ただし、設計目的の情報、例えば入札情報であるとか、発注する際に類推できるような情報に関しては差し控える。

問 敷地は、保育園用地7,640㎡、防災避難地4,440㎡。規模は、さゆり保育園の面積約1,500㎡の14〜15倍、2階建てであり、支援センター、療育施設、救護施設、備蓄倉庫を含めると25倍程度となる。



すみれ保育園予定地

起債償還、残高推移	
年度	金額
26年	100億円超える
27年	108億円程度
30年	100億円下回る
33年	91億円程度

答 起債償還については、10年間の残高推移を推計している。

問 財政についてはどのような形で把握されているか。

対応できると考えている。



町政を問う

佐藤正司議員

問 津波防災まちづくりの中長期計画は

答 命を守る避難タワーなど優先し、スーパー津波堤は国の関与を要望していく

問 道路上空を利用した避難タワーは何基になる計画か。

答 物理的条件や用地買収などの条件があり、最終的には、自治会、町内会、地元の関係者の皆さんと決定していく。

問 高さ15mのスーパー津波堤とはどのようなものか。

答 現在やっていることは、この町に関係する人々の生命を守ること、企業が安心して生産活動ができ、町民の財産を守ることだ。

レベル1の地震は、今の6・2mの防潮堤で安全を図れるが、千年に一度では守れない。予測の1・5倍の13・5mに余裕を見て15mの防潮堤を国に強力に要望している。

問 「津波防災まちづくり」全体のイメージ図として公表すべきではないか。

答 中・長期的なビジョンを明確にするため、都市防災総合推進事業の中で、「津波防災まちづくり計画」を策定し、その内容は必要に応じて報告する。

問 「津波避難計画の説明会」で出た質問等を検討した結果はどうか。



住吉海岸

答 主な意見として、構造、規模、階段、トイレ、備蓄倉庫などで、設計技術検討委員会で占用物、構造物など法律上のしほりを検討し、出来る限り希望に沿う形にしたい。

問 東日本大震災を教訓に、町民の皆さんが現地を見、学ぶ取り組みは出来ないか。

答 町民の皆さんが現地を視察する計画はない。



津波避難タワー完成予想図

問 国土交通省のモデル都市に選定されたが、今後どのように進めるのか。

答 町が「海岸平野部」の町という地域条件のモデル地区に選定された。今後、中部圏の市町村の参考となるポイントを整理し、平成25年度に「地震・津波災害に強いまちづくりガイドライン」を策定する予定である。



町政を問う

平野 積 議員

問 内閣府発表では津波は吉田町の想定より早く来る
海岸沿いに多くの避難施設を

答 津波避難タワーは当面計画通りに建設予定

街区	避難対象地区	最長避難距離(m)	
		健常者	要援護者
A	住吉新田・山八	554	257
B	住吉山八	542	445
C	住吉山八・西浜	512	392
D	住吉西浜・東浜	587	444
E	住吉東浜・大浜	552	372
F	住吉東浜・大浜	527	449
G	住吉大浜、川尻西組、下片岡	661	390
H	川尻西組・東組	800	392
I	川尻東組	925	395
J	住吉新田・山八	988	498
K	住吉森下・山八・西浜	601	581
L	住吉森下・東村・東浜、下片岡	559	480
M	住吉東村、下片岡	718	570
N	川尻山通・西組・東組、下片岡	1,397	623
O	川尻西組・東組	556	519
P	住吉新田・山八	641	643
Q	住吉森下・新田・山八・西浜・東浜	497	590
R	住吉森下・東村・東浜、下片岡	494	479
S	住吉森下・上組・東村	981	1,036

問 津波避難計画の各避難街区で避難施設への避難に時間が最もかかる方の避難距離は健常者および要援護者でどのくらいか。

答 左表のとおり。

津波避難タワー

問 マップ中の水位変化時系列グラフ（下図）と20cm波が5分で吉田町海岸に届くとの図は矛盾する。内閣府は1m波が4分、5m波が6分で来るとしている。これらを正確に把握しているか。

答 県と制作会社に問い合わせる。

問 千年に一度の津波は吉田町想定よりも早く海岸に到着するとの想定が公表された。その分、避難可能時間は短くなる。海岸沿いにはより多くの避難タワーが必要では。

答 詳細確認には時間がかかる。遅くとも来年6月には県の

答 現在の計画通りに進める。

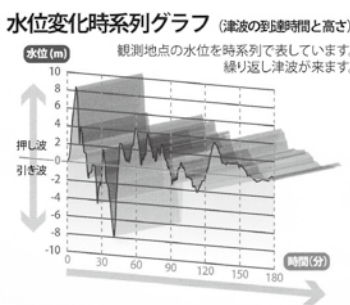
問 要援護者救出にはハード整備のみならず、ソフトの更なる充実が必要と思うが。

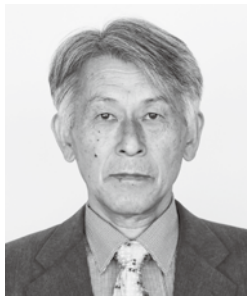
要援護者の救出

答 計画通りに進め、必要であれば補完する考え方で進める。

問 本定例会の補正予算で今年避難タワーを9基作る予定になった。来年では遅い。

4次被害想定が出て、はつきりする。それまでは計画通り進める。





町政を問う

山内 均 議員

問 平常時の安全・安心のルールづくりと都市計画

答 通学路における緊急合同点検の調査実施

全国各地では、登下校中の児童を巻き込む交通事故が頻発しているが、吉田町3小学校における登下校中の交通事故の状況は、平成23年度は無事故、今年度は8月末までに2件発生している。中学生については23年度および本年度の8月末まで無事故である。

文部科学省では本年6月に「通学路における緊急合同点検実施要領」を作成し、各自治体の教育委員会に対し、8月末までに小学校の通学路の安全点検を実施し、その結果の報告を依頼した。

問 安全点検実施の結果は出ているか。

答 抽出された危険箇所は、全部で24カ所。住吉小学校区5カ所、中央小学校区13カ所、自彊小学校区6カ所である。

通学路における緊急合同点検実施による危険箇所

住吉小学校区	住吉新田・森下寄子2,3号線交差点付近
	住吉山八・榛南幹線
	住吉東村・さくら保育園前の道路
	住吉森下・JAの裏の道路
	住吉西浜・山向八軒屋2号線
中央小学校区	川尻・西の宮公園付近の交差点付近
	川尻・西の宮線
	川尻・東名川尻幹線、お夏橋東交差点付近
	川尻・焼津榛原線、川尻橋交差点付近
	川尻・県営住宅駐車場付近
	片岡・備前の守トンネル南信号機交差点付近
	片岡・上吉田4号線、国道150号交差点付近
	片岡・高畑高島線
	片岡・妙法寺前道路
	片岡・愛宕神社前道路
	片岡・下片岡山通線コンビニ交差点付近
片岡・中央小学校前道路	
自彊小学校区	神戸・県道吉田大東線、千草橋西交差点付近
	神戸・県道吉田大東線、塩谷上河原線交差点付近
	神戸・塩谷上河原線
	神戸・県道吉田大東線
	神戸・自彊小学校北側道路
神戸・県道吉田大東線、向原6号線交差点付近	

問 自彊小学校の北側通学路の登下校の安全確保は。

答 登校時は交通規制に関する要望書を牧之原署に提出し、午前7時から午前8時まで自彊小学校方向への進入禁止の予定で協議中である。下校時の貨物自動車に対する規制は考えていない。

問 町道高畑高島線の拡幅予定および安全対策は。

答 拡幅予定はない。白線は消えていれば補修する、また、路側帯に「グリーンベルト」を設置することが最良と考えている。

問 湯日川堤防の安全確保および美化については。

答 通学路については、教育委員会が受け、警察・都市建設課などと連携をしている。

答 緊急雇用創出事業を活用し除草の管理を行っている。

問 地域全体の安全確保についての住民の意見の受け皿は。



町政を問う

大塚 邦子 議員

問

お達者度県内トップ1に輝く
わが町の長寿施策は

答

食事・運動・社会参加の3要素を盛り込んだ
健康長寿施策に積極的に取り組んでいく

問 これまでの取り組みでお達者度1位に繋がった効果は。

答 特に、特定健康
調査では、検診結
果に合わせ、生活改善
のための保健指導をき
め細かく実施しており、
多くの受診者の検診結
果に改善が見られてい
る。

問 今後の課題は。

答 男女ともに「お
達者度」が上位と
なるよう、吉田
町の男性健康長
寿施策に取り組
むこと。さらに
は男女問わず、
健診・各種教
室・活動への継
続参加や自主活
動への支援、町
民全体の健康の
底上げを図るこ
とが挙げられる。



自主活動グループ体操教室

問

シルバー人材センター
ワークプラザの建設は

答

平成25年度設計、平成26年度
建設に向け建設場所の選定を行う

問 シルバー人材セ
ンターが目的とす
る就業機会の増大と生
きがいの充実を図るた
め、どのような支援を
行っていくのか。

答 就業の機会に加
え、介護予防の一
環という考え方から、
センターが機能するた
めに必要で、過不足の
ない財政的な支援を継
続していきたい。

問 ワークセンター
の建設時期と規模
は。

答 規模や内容は、
事務スペースおよ
び会議、研修、休憩を
兼ねた多目的スペース
と屋内作業スペースな
どを設けた施設を想定
している。シルバー人
材センターと協議しな
がら詳細について検討
していく。



シルバー人材センター



町政を問う

藤田和寿議員

問 国に比べ職員の給料が上がった？

答 学歴構成が大きく異なる

問 官民格差解消のため、3年連続で給与引き下げを行っている中で、国と給料月額を比較するラスパイレシ指数が3・1増と大幅に上昇したが。

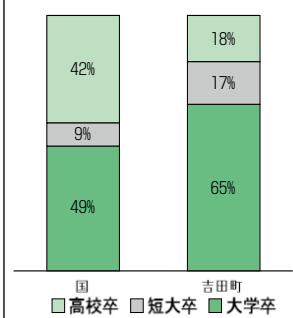
答 高卒全体のラスパイレシ指数が4・1上がり、町全体の指数上昇の要因となった。他に、給料が低い職員の退職と3級部分の昇格時号給の一部改正で、95・4となった。

問 多様化する行政需要に対しては、臨時職員や時間外勤務で対応している。運用基準は。

答 正規職員のみが理想だが、事業を考慮し簡易または補助的な業務を臨時職員で対応している。時間

外は、業務や行事を考慮し、各課長が命じている。住民サービスを下させないように、効率的な職員配置に努め、定員の抑制を図っている。

学歴別構成比較



ラスパイレシ指数の推移



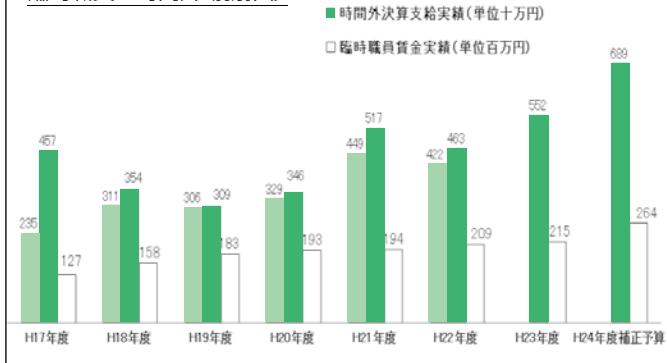
問 津波防災を重点に推進するために、臨時職員や時間外で対応している図書館などを直営から指定管理に変える検討は。

答 直営の方針です。改革を検討する際には、町民にとってよい事なのか、メリットやデメリットを十分に検討して判断する。

問 昇給の基準は。

答 勤務評定に基づき4号給の昇給を標準に実施し、新人事評価制度構築までの暫定措置で4号給を超える昇給はしていない。成績主義の観点から、新制度前だが、本年から、勤務成績に基づく査定昇給を始めた。

臨時職員と時間外勤務推移



ラスパイレシ指数

国の行政職の棒給月額と地方公共団体の一般行政職の給与月額を、学歴別の4区分(大卒・短卒・高卒・中卒)と、経験年数別の12階層別に比較したもので、国を100とした場合に、地方公共団体の給与月額がどの程度かを表す指数。

小山城周辺整備による 産業振興策を探る！

▶小山城大手門



◆7月20日 委員会

産業振興に係る都市整備事業についてを表題として委員会を開会した。

・小山城周辺を産業振興策の拠点と考え、それに関する都市整備事業について当局の施策を調査課題とする方針を決定した。

◆8月17日 委員会

都市建設課と産業課の両課を通じ、産業振興に供する整備の現状、将来構想を聞き取り、協議することとした。

また、担当課に協議事項を通達することを決定した。

◆協議内容

- ・多目的広場の利活用
- ・能満寺公園のトイレ整備
- ・中瀬北原線の整備
- ・農地転用（公共建築物）
- ・案内看板、マップ
- ・駐車場整備（資料館西側、小山城駐車場）
- ・小山城楽市の現状と将来ビジョン

◆9月18日 委員会

先に提示した内容について担当課より説明を受けた。

◎都市建設課

・中瀬北原線（小山城駐車場南側の道路）は、平成25年度から3カ年計画で拡張（12m道路）の予定である。

◎産業課

・多目的広場の利用は町のイベント小山城まつりなどである。駐車場は小山城楽市に使用されている。芝生広場は、片岡自治会が管理し、ほと



▲中瀬北原線

んどがグラウンドゴルフに利用されているのが現状である。今後、西側に拡張の予定がありイベント利用が見込まれるものである。

・小山城のトイレは改修も必要になってきているが、現在計画はない。また、増設は考えていない状況である。

・案内看板の整備は必要だが予算が伴うため検討課題である。ルートマップは、平成25年度作製予定である。

・小山城資料館西側を用地取得し、駐車場整備予定であり展望台、資料館へのアクセス向上を見込んでいる。

・小山城の売店は、行政サイドだけでなく民間（商工会など）に委託することも検討している。また、6次産業にも利用することも考えられることである。

・小山城楽市は、「緑花祭」（平成13年4月）から開催されており、定着してきている。

会場について駐車場ではなく多目的広場の利用が検討すべき課題である。

◆小山城周辺を整備することが、当町の観光拠点となり、産業振興の起爆剤となりうることを予測される。

産業建設常任委員会

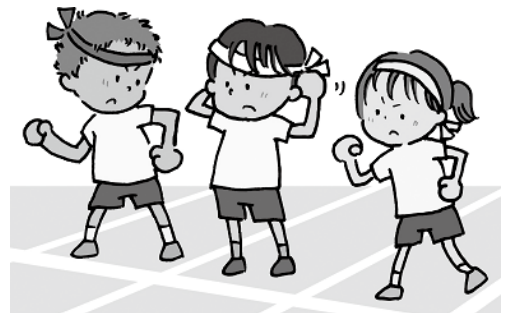
委員長 枝村和秋

教育長にはどんな人が？

各議員の意見要約

議員	意見
増田(剛)議員	教育行政を担うには経営感覚のある人。義務教育教師経験者。
杉本議員	教育に前向きな積極的な人。全体を見据えた責任感のある人。考えの柔軟な施策の多い人。
山内議員	人の意見を聞き、解決しようとする人。何のために、何をやるかのビジョンを持っている人。現場を大事にする人。
平野議員	管理能力のある人。将来を見通した判断力のある人。人の意見を聞く協調性ある人。
三輪議員	地域に人望のある人。教育委員会には子どもの持っている可能性を活かして欲しい。
枝村議員	地域の人で人望のある人。総合計画の「第3章 教育・文化・交流」を推進できる人。
佐藤議員	不登校・いじめ問題を適正に処置できる人。地域の教育を理解している人。
吉永議員	地域の方がふさわしいのは当然のこと。誰もが教育行政を担ってもらえると思える人。
大塚議員	「教育よしだ21」を実行できる人。学校改革に毅然と立ち向かえる人。生涯教育の観点で子どもを教育できる人。
増田(宏)議員	教育行政に情熱を持ち、現場に精通している人。学校経営ができる指導力、行動力のある人。
河原崎議員	吉田町には立派な教育者が多いのでその方から選考して欲しい。
藤田議員	生徒、先生の思いを把握できる現場に強い人。予算折衝ができる経営感覚のある人。地元を理解するリーダーシップのある人。
八木議員	地域の人から親しまれる人。管理能力のある人。文化活動、体育活動に明るい人。

9月12日に議会と町との「教育長に適した人物像」に関する懇談会が開かれた。この懇談会は3月23日および28日の「吉田町教育委員会の委員の任命につき同意を求めることについて」の議案に対して、議会は不同意とし、8月23日のその再議においても議会在「先の議決の通り」とした経緯を経て、議会および町が一刻も早く教育長不在の状況を脱しなければならぬとの思いから実現したものである。各議員が望ましい人物像に関する意見を述べた後、意見交換し、町長からの「一刻も早く教育長不在を解消したい。」との力強い言葉で閉会した。



意見交換

議 皆さんの意見に合う方が町内に居ればよろしいが、居なければ町外、県内に居なければ国との考えがある。町内で見つけられるめどは。

町 なかなか簡単にとは言えない。

議

本日の意見を参考に100%満たすベストでなくともベターな選択を一刻も早くして欲しい。

町

議員各位との懇談により、当町の教育行政を前に進めるめどがたつた。議会としても、当局としても町を前進させなければならぬとの信念が課せられている立場であるので、お互い切磋琢磨し、町の発展を期していきたい。教育長不在に関しては一刻も早く解消したいとの考えであるので、ご支援いただきたい。



〈65歳からの市町別平均自立期間〉

順位	男 (年)	性	順位	女 (年)	性
1	長泉町	19.05	1	吉田町	21.67
2	磐田市	18.18	2	伊豆市	21.49
3	浜松市	17.95	3	東伊豆町	21.47
4	裾野市	17.86	4	裾野市	21.27
5	藤枝市	17.82	5	袋井市	21.25
26	吉田町	16.90	26	西伊豆町	20.22
27	沼津市	16.86	27	長泉町	20.13
28	富士宮市	16.77	28	富士市	20.11
29	小山町	16.67	29	菊川市	20.09
30	富士市	16.53	30	熱海市	19.98
	静岡県平均	17.30		静岡県平均	20.68

吉田町と長泉町は、男性と女性の順位が対照的である。

社会の高齢化が急速に加速する中、65歳からの平均自立期間（介護を受けたり、病気で寝たきりになったりせず、自立して健康に生活できる期間、いわゆる「お達者度」）を県として初めて市町別に算出した。

この「お達者度」は、55歳から要介護度2（55にならない期間を表し、県内の女性トップは吉田町で21・67年、男性は長泉町19・05年であった。県によれば、「運動・栄養・社会参加」に留意した生活を送ることで、平均的寿命が延伸することが判明しているとのこと。

町の取り組み

- 健康づくりでは、ストックウォーキング教室やヨガ講座などの若返り貯筋塾事業を推進しており、生涯学習事業は、パソコン教室や太極拳などの63の講座や寿大学を実施している。
- 医療施策は、早期受診・早期治療や受診率の向上を目標に健診を実施し、生活習慣病予防を目的とした生活改善指導を行っている。
- 高齢者福祉対策では、介護予防事業を推進するとともに、高齢者の就業機会の確保と生きがい活動の充実を目的に、シルバー人材センターやさわやかクラブの活動を後方支援している。また、老人福祉センターでは、12種類の趣味クラブや健康体操教室などが開催され、年間1万人

以上の高齢者が利用している。

今後の方向性は

町は本年8月に高齢化率が20%を超え五人に一人が高齢者となった。健診と栄養、各種の社会参加に留意した生活が平均自立期間につながる成果が出た。健康で自立している期間が伸びるほど介護給付費も抑制できる。特に男女共に「お達者度」が上位となるよう健康長寿施策の取り組みと町民全体の健康の底上げを目指す。

担当 河原崎昇司

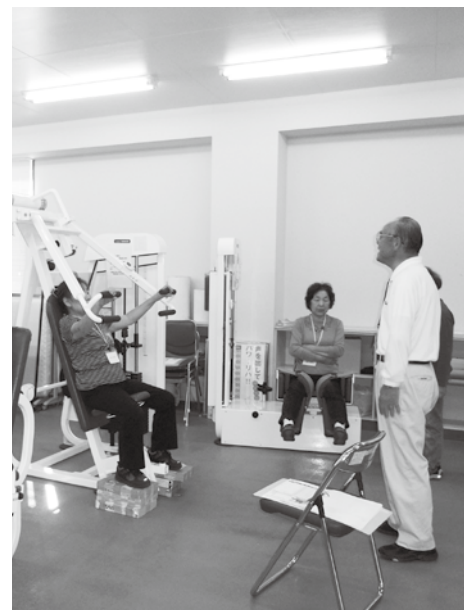
お詫びと訂正

よしだ議会だより第66号15ページ、政策追跡ルポ（ちいさな理科館）において、記載内容に誤りがありました。正しくは、次のとおりです。

- スタッフ
- 運営スタッフ、9人
- 臨時職員、3人
- 募集
- 平成23年途中から、小学生以上

活動

第1週・第3週（土・日曜日）は運営スタッフにより実施。他の週には、外部講師による講座を実施。



運動器の機能向上教室

町内4会場で議会の審議結果を報告



第5回議会報告会



議会を傍聴してみませんか？

第3回（9月）定例会の傍聴者数は延べ41人でした。ぜひ、傍聴にお出かけ下さい。

希望者は議会事務局へお問い合わせ下さい。
0548-33-2141

12月3日(月)	本会議
12月6日(木)	委員会
12月10日(月)	委員会
12月12日(水)	一般質問
12月13日(木)	一般質問
12月14日(金)	全員協議会
12月17日(月)	本会議

次の第4回（12月）定例会の予定です。



あ
と
が
き

平成24年第3回吉田町定例会議会も終わり町は最重要課題である津波防災対策の具体的な施策実現に大きく踏み出し議会も呼応して、町民の安全安心を第一に努めて参ります。去る9月24日県教育委員会から吉田高校統合同題について報告があり今後の課題も残ります。町民の皆さんに楽しく読んでいただく視点で編集に努めて参ります。町民の皆さんと共に歩む広報になれば幸いです。ご意見アイデアなどは、委員または事務局までお願いします。(M・M)

- 議会広報特別委員会
委員長 吉永 満榮
副委員長 河原崎 昇司
委員 増田 剛士
杉本 幸正
山内 均
平野 積
三輪 正邦